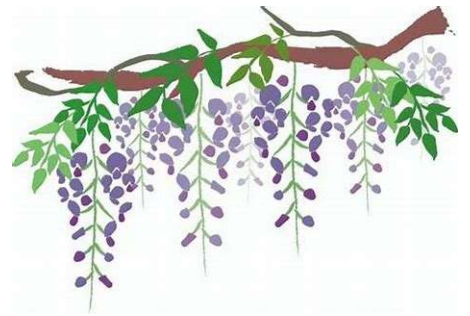




<みよみよ はればれ まんなか>



美花果 便り

Vol.37

都筑の町のほほまんなかで

～その 37～

「施設に入れた方がいいのでしょうか？どう思いますか？」と言われることがあります。

長年住み慣れた家で、暮らすことをあきらめて施設に入るといふ決断は難しいものです。本人が選択できる場合はまだよいのですが、本人が判断できない状態で、家族が決めるときには、苦しい選択と決断になります。人生の選択に、これが正しいという正解はありません。でも、自分の選択は間違っていなかったという安心は欲しいものです。その時に、それまで、一緒に、家での生活をお手伝いし、その様子を共有してきた、ケアマネや看護師だからこそ言えることがあります。私は、「ここまでご家族も良く頑張りました、ここから先は施設の介護の専門家に任せて良いと思います。」とお話します。ご家族の選択を肯定することで安心と安堵が生まれます。

私の母も認知症がひどくなり、最期の3か月は、特別養護老人ホームにお世話になりました。家族もできる限り会いに行きましたし、父に至っては毎日通っていましたので、最期が近くなったときには「おじいちゃん大変だから泊まってもいいですよ」と言ってもらいました。介護の手間がかかり施設の方に大変お世話になり感謝しています。最期まで家族として優しい気持ちで寄り添うために、在宅であれ、施設であれ、介護の手はプロに任せるという選択も良いと思っています。

松田

みよみよ看護

【訪問看護ステーション】

住所: 〒224-0033

横浜市都筑区茅ヶ崎東 4-9-18

電話: 045-949-6277

FAX: 045-949-6278

メール: e-matsuda@ni-care.jp

ホームページ: <http://www.ni-care.jp/>

「看」という文字は、手をかざしてよく見るという意味合いがこめられています。

中国の禅僧が我々の中に存在する宝を見極めよ、という意味で「看看(みよみよ)」といるところから名前をつけました。

皆様の心の中にある宝物を大切に、お家での生活を支えます。

